



花粉の少ない森づくりを応援しよう！

づくり支援倶楽部会報誌

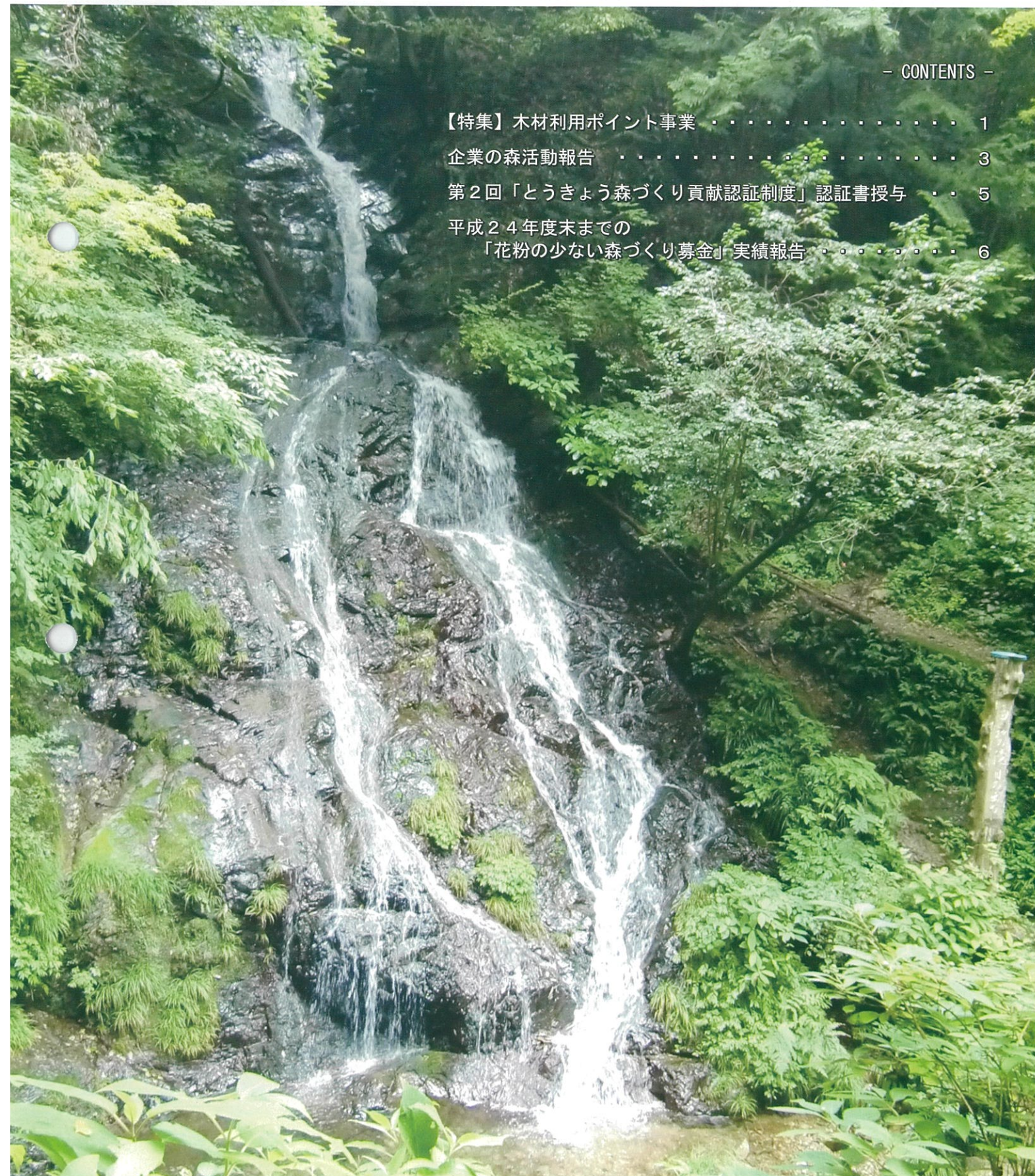
25年度夏号

第19号

発行日：平成25年8月16日

- CONTENTS -

【特集】木材利用ポイント事業	1
企業の森活動報告	3
第2回「とうきょう森づくり貢献認証制度」認証書授与	5
平成24年度末までの 「花粉の少ない森づくり募金」実績報告	6



木材利用ポイント事業

その木、どこの木？地域を元気にする木？

地域材を使って家を建てたり、リフォームしたりするとポイントが付与され、地域の農林水産品等と交換できる「木材利用ポイント事業」をご存知でしょうか。地域材の需要拡大を促進する対策として国（林野庁）が行っている事業です。

地域材の適切な利用は、森林の保全、地球温暖化の防止に貢献し、農山漁村地域の振興にもつながります。

ぜひこの機会に、地域のため、次世代のため、地域材“多摩産材”の積極的な活用をご検討ください。



日本は世界有数の森林大国であり、森林率は約7割に達しています。森林の蓄積は、人工林を中心に毎年増加しており、平成24年当時で総蓄積は約49億m³あります。

しかし、日本の木材需要量はここ数年7千万m³台で推移しており、木材自給率は20%台と大変低いものとなっています。そのため木材利用を目的に育てられた木が伐採されず、荒廃する人工林が目立つようになりました。多摩地域においても、20年生以下の若い森林が極端に少なく、高齢林分の増加により、スギ花粉飛散の増大や二酸化炭素吸収能力の低下が問題となっています。

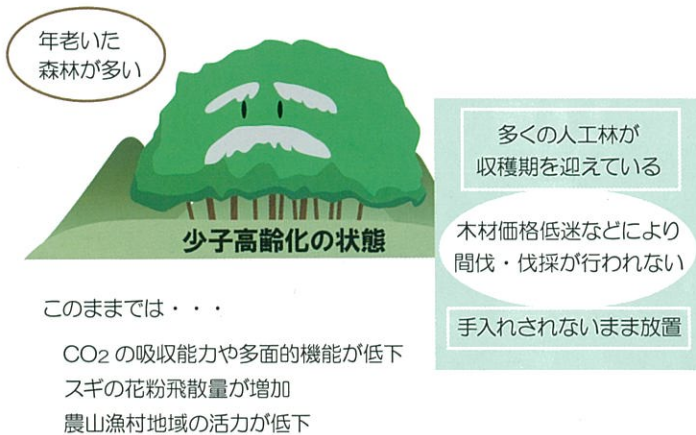
日本の森林が抱える様々な問題を解決するためには、「国産材を使う」「山で働く人を育てる」「森林づくりをみんなで支える」等の取り組みが必要です。

木材利用ポイント事業は、地域材の適切な利用により、森林の適正な整備・保全、地球温暖化防止及び循環型社会の形成に貢献し、農山漁村地域の振興に資することを目的とした事業です。

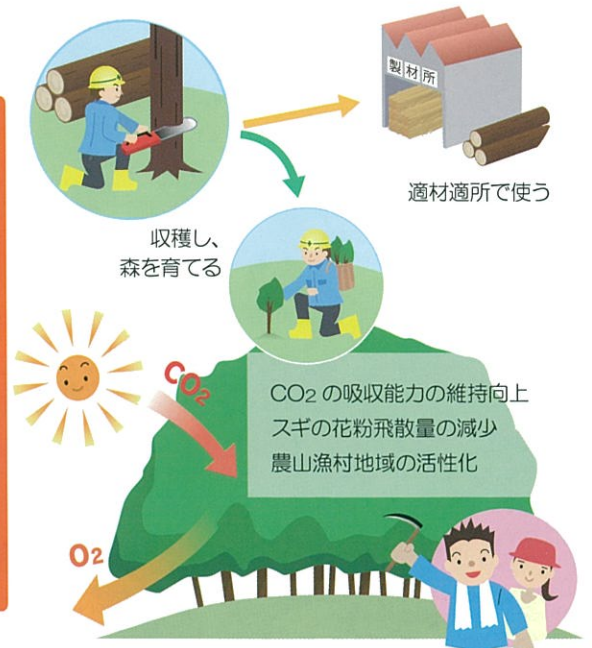
これから住宅の新築やリフォームを検討されている方は、これを機会に東京の地域材である“多摩産材”の活用をご検討されてはいかがでしょうか。

また、テーブルや棚などの家具や木質パレットストープ等の購入でもポイントが発行されますので、購入をご検討されている方には、ポイント発行対象となる地域材使用製品をお勧めします。

我が国の森林（人工林）の現状



木材の利用の広がりにより



ポイントの発行対象

木造住宅の新築・増築・購入

- ・スギ、ヒノキ等の主要構造材等として過半使用するもの
- ・使用する材の産地・樹種を広く表示するもの等

内装・外装の木質化工事

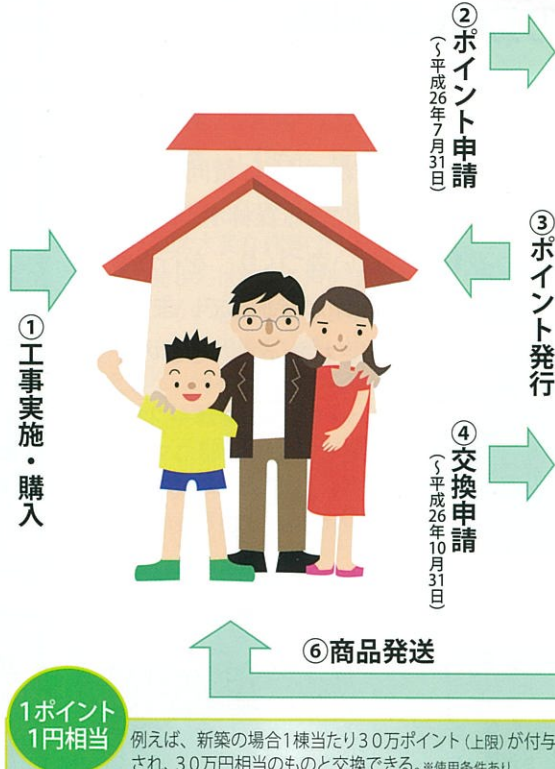
- ・スギ、ヒノキ等を内装9㎡以上、外装10㎡以上活用するもの等

木材製品及び木質ペレット・薪ストーブの購入

- ・スギ、ヒノキ等を0.01m³以上使用し、かつ使用木材の過半使用したもの等

平成25年4月1日〜平成26年3月31日まで
に工事に着手したものに
購入されたもの

平成25年7月1日〜平成26年3月31日まで
に購入されたもの



木材利用ポイント事務局・申請受付窓口(各地に設置)

都内には、61箇所

ポイントの交換対象

<p>商品への交換 お気に入りの商品と交換</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の農林水産品等 農山漁村地域における体験型旅行 一般型商品券・プリペイドカード 農林水産品関連商品券 地域・中小企業型商品券 	<p>森林づくり・木づかい寄附 森林の整備、国内の緑化の推進等の団体に寄附</p> <p>1ポイントから寄附できます</p>	<p>復興寄附 東日本大震災の復興を目的とする基金等をもつ地方公共団体へ寄附</p> <p>1ポイントから寄附できます</p>	<p>即時交換 ポイント発行対象となる工事(新築等)によって取得した分を、別の工事(木製サッシ、ウッドデッキ取付等)の代金に充当</p>
---	---	--	---

木材利用ポイント事務局ホームページ <http://mokusai-points.jp>

木材利用ポイント事務局ナビダイヤル (有料) 0570-666-799

9:00~17:00 (土・日・祝日含む) PHS、IP 電話からのお問い合わせはこちら (有料) 03-6701-3270

東京の森の木で家をつくらう!

優遇融資制度「とうきょうの森のいえ」のご案内

多摩産材(東京産の木材)を活用した住宅供給を促進するため、東京の木・いえづくり協議会が、民間金融機関等と連携し、都民等が多摩産材を住宅に活用した場合、住宅ローンの金利について、標準金利よりも優遇を受けることができる制度を設けています。

東京の木・いえづくり協議会会員の工務店等が建築に関わり、かつ住宅建設に使用する木材の50%以上を多摩産材とすることが、優遇融資を受ける条件となっており、右表の7つの金融機関で実施しています。

多摩の木をもっと使おう!



詳しくは、「東京の木・いえづくり協議会」へ

東京の木・いえづくり協議会

http://www.toshiseibi.metro.tokyo.jp/juutaku_seisaku/131-0eakyo.htm

実施金融機関	
八千代銀行	営業企画部 商品開発課 電話 03-3352-2271
西武信用金庫	営業支援部 電話 03-3384-6111
青梅信用金庫	営業推進部 電話 0428-24-1116
りそな銀行あきる野支店	あきる野支店 電話 042-558-2611
JAバンク東京信連	JAバンク東京信連 JA 東京ローン営業センター 電話 03-3370-6161
多摩信用金庫	多摩信用金庫住宅ローンセンター 電話 042-526-7712
中央労働金庫	中央労働金庫東京都本部 電話 03-5804-2242

東京の木・いえづくり協議会事務局

東京都 都市整備局 住宅政策推進部 民間住宅課 電話 03-5320-5006

東京都 産業労働局 農林水産部 森林課 電話 03-5320-4858

企業の森活動報告

企業の森とは、花粉の少ない森づくりに賛同した企業・団体が、募金や社員の方々による森林ボランティア参加等を通じて“花粉の少ない森づくり”を行う事業です。現在、19の企業・団体が参加しています。

今年5月から7月までに実施された下刈りなどのイベントをご報告いたします。

イベント実施回数： 12回
参加のべ人数：640名

企業の森・東芝府中(青梅)

株式会社東芝 府中事業所

5月18日(土)「下刈り」
参加人数：52名 作業面積：0.5ha
指導員：東京都森林組合

今年で五年目を迎え、四回目の下刈りイベントを行いました。参加者の中には経験者が多く、順調に作業が進みました。また東芝府中ラグビー部の方々も多数参加され、準備体操や荷物運びなどでも活躍されていました。

当地はハイキングコース沿いにあるため、ハイカーとの触れ合いもあり、充実したイベントとなったようです。



企業の森・東芝(御岳)

株式会社東芝 青梅事業所

5月11日(土)「歩道整備」
参加人数：57名 作業距離：約700m
指導員：東京都森林組合

今年で七年目を迎えた当地において、傷んできた歩道の整備を行いました。道ならしや杭打ち、道をひろげるなど役割をそれぞれ分担をして、作業を進めました。山頂まで丸太を運ぶのは重労働でしたが、作業の合間に景色を眺め、山頂ならではの美しい光景を堪能したようです。



企業の森・いなげや(青梅)

株式会社いなげや

5月25日(土)「下刈り」
参加人数：120名 作業面積：0.74ha
指導員：森づくりフォーラム

「森を育てるぞ!」「オー!」と新入社員の代表者の音頭で景気づけをして、イベントが開始されました。

今回は下刈り体験と、東京の森林や林業についての講話が行われました。広い下刈りエリアを班ごとに交代で行い、お互い明るく声を掛け合いながら、作業を進めていました。講話では、下刈りの大切さ等の話を聞き、森づくりについて理解を深めていただけたようです。



日野自動車 70周年の森(御岳)

日野自動車株式会社

5月25日(土)「植樹」
参加人数：53名 作業面積：0.05ha
指導員：東京・仙人掌の連

昨年協定を締結し、二回目となる植樹イベントを実施しました。植樹した苗木は、花粉の少ないスギ150本。元気に育つように、皆さん丁寧に植えていました。また今後行われる下刈りの時に誤伐されるのを防ぐため、前回植えた広葉樹に目印テープをつけました。植樹して半年以上経った苗木の生長ぶりを見て、「また来るのが楽しみ」との声も聞かれました。



企業の森・カナデン(青梅)

株式会社カナデン

6月1日(土)「下刈り」
参加人数：53名 作業面積：0.46ha
指導員：森づくりフォーラム

森づくり四年目である当地での下刈り作業は、経験のある参加者も多く、指導員からの注意を参考に、植えた苗木を誤って伐らないよう丁寧な作業を行っていました。班ごとにエリアを区切って作業を進めていましたが、先に終えた他の班員が残っている箇所を手伝ったり、初めての人をフォローしたり、チームワークの良さを発揮していました。



サントリー天然水の森 奥多摩

サントリーホールディングス株式会社

6月1日(土)「下刈り・歩道整備」

参加人数：71名 作業面積：0.26ha

指導員：東京チェーンソーズ

今年で三年目を迎える当地では、下刈りと歩道整備を実施しました。下刈りでは、鎌にツルなどの雑草が絡まり苦戦している方も多かったようですが、しばらくするとコツを掴み順調に進みました。歩道整備では、クワでならず人、それを踏み固める人に分かれ効率よく作業を行いました。作業終了後、手入れを終えた山の姿を見ながら昼食をとり、成果を実感されたようです。



企業の森・東栄住宅(あきる野)

株式会社東栄住宅

6月12日(水)・15日(土)「下刈り」

参加人数：74名(12日：23名・15日51名)

作業面積：0.48ha 指導員：東京チェーンソーズ

12日は雨の中での実施となりました。雨合羽を着て下刈りを行うのは大変な作業でしたが、参加者の皆さんは明るく声を掛け合い、予定エリアを無事終了しました。

一方、15日は蒸し暑い中での作業となり、汗を流しながら急斜面にも果敢に挑戦する姿が見られました。

様々な部署の社員が集まって森づくりを行う事で、社員同士の親睦を深める好機ともなったようです。



企業の森・公益社団法人青梅法人会(長淵)

公益社団法人青梅法人会

6月20日(木)「下刈り」

参加人数：28名 作業面積：0.11ha

指導員：東京・杣人の連

開催日当日は、時折小雨がぱらつく中でのイベントとなりました。下草も背丈近くまで伸び、困難な作業が予想されましたが、下刈りに慣れた方も多く、作業は滞りなく進みました。

作業終了後には、指導員による鎌研ぎ講習が行われました。参加者から鎌の種類や研ぐ頻度等の質問があり、普段から森づくりに慣れ親しんでいることがうかがえました。



企業の森・NTTコムウェア(青梅)

NTTコムウェア株式会社

6月22日(土)「下刈り」

参加人数：67名 作業面積：0.50ha

指導：NTTコムウェア 環境サポーターズ

今回は過去最も多い参加者が集まり、賑やかなイベントとなりました。

社内で結成された環境サポーターズを中心に効率良く作業が進行しました。当日は気温が高く、作業中の参加者の飲料水が不足するや、すかさず麓から補充するなど安全面でも万全でした。大人数による混乱もなく、計画性の高さやチームワークの良さがうかがえました。



新宿の森 あきる野(企業の森)

新宿区

6月22日(土)「下刈り」

参加人数：41名 作業面積：0.25ha

指導員：戸倉東部自治会・森づくりフォーラム・森林レンジャーあきる野

新宿区民とあきる野市民が参加して森づくりを行うイベントが実施されました。参加者の中には、熟練者並の下刈り経験者もいる一方で初めての作業に苦心している方も。しかし指導員の助言を得て、できるようになったと笑顔を見せていました。

森づくりを通して、相互の交流を深め、東京の自然の豊かさを実感していただけました。



東芝府中・日の出の森

東芝労働組合府中支部

7月6日(土)「枝打ち・間伐・自然観察」

参加人数：24名

指導員：青梅りんけん

スギ林である当地にて、枝打ちと間伐を行いました。枝打ちでは、約4mの高さまで梯子で登り、枝を切り落としました。間伐では、10m以上あるスギを皆の力を合わせ、切り倒しました。どちらも普段経験のできない山作業を体験し、充実した一日を過ごされたようです。

親子で参加された方は、昆虫や水辺の生き物の観察を楽しまれました。



第2回「とうきょう森づくり貢献認証制度」認証書授与

東京都では、森づくり活動を行う企業・団体や多摩産材を積極的に利用する企業等に対し、東京の森づくりへの貢献と二酸化炭素吸収量及び二酸化炭素固定量を認証する「とうきょう森づくり貢献認証制度」を実施しています。

認定・認証された企業等には、東京都から貢献認証書が授与されます。また、当制度の認証マークを広報媒体等に使用することができ、森づくりに貢献している企業としてPRすることができます。さらに、東京都の関連するホームページ等を通じ、活動の内容や企業情報を紹介します。

このたび、森林整備サポート認定など合計22件、11団体から申請がありました。審査の結果、認証することとなり、第2回認証書授与式が5月13日に執り行われました。



森林整備サポート認定

企業等が実施・協賛した下刈り、除伐、間伐等の森づくり活動による二酸化炭素吸収量を、東京都が認定します。

企業・団体名	認定の対象となる施業	認定対象森林面積 (ヘクタール)	二酸化炭素吸収量 トン-CO ₂
武蔵野市水道部	下刈	3.21	279.81
新宿区	下刈	3.73	180.45
中央区	間伐	4.35	157.46
NTTコムウェア株式会社	下刈	3.14	235.35
美しい多摩川フォーラム 青梅信用金庫	下刈	1.59	122.22

什器による二酸化炭素固定量認証

多摩産材を用いた什器の二酸化炭素固定量を、東京都が図面認証します。

また、認証された什器を購入（二酸化炭素換算で1,000キログラム以上）した企業等を、東京都が貢献認証します。

企業・団体名	品名	多摩産材使用材積 (立方メートル)	二酸化炭素固定量 キログラム-CO ₂
帝国器材株式会社	マガジンラック外4件	0.01824/個あたり	13.6/個あたり
株式会社イトーキ	CHベンチ(スギ)外9件	0.01844/個あたり	10.6/個あたり
武蔵野市 (緑のまちづくり推進課)	間伐材プランター	0.02073/個あたり	1,190(100個購入)

木造建築物による二酸化炭素固定量認証

多摩産材を用いた木造建築物の建築主には、木造建築物による二酸化炭素固定量を、東京都が認証します。

また、多摩産材を用いた木造建築物の施工業者には、東京の森づくりへの貢献を、東京都が認証します。

建築主・施工業者名	工事種別	多摩産材使用材積 (立方メートル)	二酸化炭素固定量 トン-CO ₂
建築主：Y氏 施工業者：(有)マイホームパートナー	新築	25.91	16.00

平成24年度末までの 「花粉の少ない森づくり募金」実績報告

花粉の少ない森づくりを進めるため、皆さまからの募金をお願いしています。平成24年度末までの募金実績をご報告いたします。

皆さまから寄せられた募金は「花粉発生源のスギ伐採」と「花粉の少ないスギ等への植替え」などの事業費に充てられます。今後とも「花粉の少ない森づくり募金」にご協力をお願いいたします。

平成18年3月27日（開設日）から平成25年3月31日まで

団体区分	募金額（円）
個人	3,726,203
企業・団体等※	182,594,251
パスモ	8,587,213
森づくり支援倶楽部会費	5,020,400
ダイヤルQ2	1,125,996
合計	201,054,063

※大口募金団体（10万円以上のご寄付をいただいた企業・団体：敬称略 順不同）

(株) アイビー・シー・エス、(株) エヌ・アンド・シー、(株) 遠藤波津子美容室、環境ステーション(株)、ケーケーエンジニアリングトレーダーズ(株)、医療法人社団修勇会、ゼビオ(株)、はとみリビング(株)、(株) 船橋ビルサービス、(株) マルコ、東京都民銀行、田中貴金属ジュエリー(株)、(株) サイバーエージェント、御岳登山鉄道(株)、(社) 全日本不動産協会東京都本部多摩西支部、(株) ファイブスター東都、東京秋川ライオンズクラブ、東京紀尾井町ロータリークラブ、都議会花粉症対策推進議員連盟、協同乳業(株)、トランスパシフィックフィッシャリーズ(株)、東芝労働組合、東京木材問屋協同組合、東京都森林組合、東京下水道エネルギー(株)、東京都下水道サービス(株)、連合東京、東京信用保証協会、JA東京中央会、東京日本橋ロータリークラブ、(株) PUC、(株) 東京交通サービス、(財) 東京都交通局協力会、東京水道サービス(株)、(有) 東京エイドセンター、東京都市開発(株)、水道マッピングシステム(株)、東京都合板組合、東京都畜産関係OB会、(株) アイ・ティ・フロンティア、飯田電機工業(株)、(株) はとバス、東京都職員信用組合、東京都競馬(株)、日本ビルサービス(株)、(株) サマーランド、東京臨海熱供給(株)、アイチサンギョウ(株)、三井不動産(株)、JAM 東京、東京ビッグサイト電設協議会

花粉の少ない森づくり募金にご協力をお願いします

銀行振込

- ・ゆうちょ銀行 口座番号：00110-4-501613
口座名：公益財団法人 東京都農林水産振興財団
- ・その他（東京都民銀行、みずほ銀行、中央労働金庫）
※専用の振込用紙がございます。お問い合わせください。

募金箱

設置場所：東京都庁第一本庁舎1階エントランス前、第二本庁舎1階案内コーナー前、展望室（第一本庁舎45階南北）、その他関連施設など



パスモ

右のシールが、貼ってある都営地下鉄内のお店や自動販売機で、PASMO カードを利用してお買い物されると、売上金の一部が募金に活用されます。



おはしづくりキット

キット代が募金に充てられます。講座やイベントなどで利用できます。



お問い合わせは、花粉の少ない森づくり運動担当 電話0428-20-8153

東京マラソンの森(八王子)森づくりイベント【植樹体験】 予告

森づくり支援倶楽部会員イベントとして、毎年好評をいただいている「植樹体験」を実施します。場所は、高尾に近い「東京マラソンの森(八王子)」にて、花粉の少ないスギを植樹します。

花粉の少ない森づくりにご寄付していただいた東京マラソンチャリティランナーの皆様と、一緒に森づくりを行う予定です。年に一度のイベントです。是非、ご参加ください。



昨年イベントより



詳細が決まりましたら、会員の皆様へご案内をお送りいたします。

〔開催予定日〕

平成25年10月12日(土) (雨天時は別プログラムで実施予定)

〔参加費〕

正会員・賛助会員は、無料

サポート会員・特別会員は、一人500円

(花粉の少ない森づくり募金として)

昨年参加された方の感想

孫に植栽してきたことを自慢したいと思います。

植林の大切さを考える良い機会になりました。

勉強になりました。楽しかったです。

非常に貴重な体験をさせていただきました。

木を植えたのは初めての経験で、とても新鮮でした。

7月1日から
募集開始!

東京マラソン 2014 チャリティ“つなぐ” 寄付金およびチャリティランナーの募集のお知らせ

「東京がひとつになる日。」をキャッチフレーズに開催されている東京マラソンは、ランナーだけでなく、多くの人たちを「ひとつにする」ことを目指し、“つなぐ”をコンセプトにチャリティを実施しています。

寄付金は、様々な分野のチャリティ活動に使われます。「花粉の少ない森づくり」は、その寄付先のひとつです。チャリティへの参加は、東京マラソンを盛り上げるとともに、「花粉の少ない森づくり」に貢献できます。是非ご協力をお願いいたします。

募集
内容

寄付

(個人または法人で申し込み)

寄付金のみで参加

チャリティランナー

(個人または法人で申し込み)

10万円以上の寄付で、フルマラソンへ参加(先着3,000名)

チャリティ・サポートシステム

Run with Heart

寄付への協力を呼びかけ、寄付先事業を支援する仕組み

詳しくは、

東京マラソン2014
チャリティ“つなぐ”

<http://www.tokyo42195.org/2014/charity/>

【お問い合わせ先】

東京マラソン 2014 チャリティ
“つなぐ” お問い合わせ事務局

電話：03-5474-2091

平日 10:00 ~ 17:00

(土日祝日、2013/12/21 ~ 2014/1/5 を除く)

「花粉の少ない森づくり」は、東京マラソン2014チャリティ“つなぐ”事業の寄付先事業です

賛助会員のご紹介 ~私たちは、「花粉の少ない森づくり運動」に協力しています~

賛助会員を随時募集しています!(年会費50,000円)

会費は、「花粉の少ない森づくり」に役立てられます!

東京木材問屋協同組合

理事長 吉条 良明

〒136-0082 東京都江東区 新木場 1-18-8 木材会館

URL <http://www.mokuzai-tonya.jp/>

TEL: (03) 5534-3111 FAX: (03) 5534-7711

立山産業株式会社

〈本社〉

〒197-0011 東京都福生市福生 973

TEL: 042-553-9111 FAX: 042-553-9152

URL: <http://www.tateyama-net.co.jp>

E-mail: eco@tateyama-net.co.jp

“考えます木材流通を前向きに” 東京材木商協同組合

〒111-0052 東京都台東区柳橋2丁目19番8号

URL <http://www.33.con.ne.jp/zaisho/>

TEL (03) 3862-7081

FAX (03) 3864-9123

新東京木材商業協同組合

理事長 内田 鉄夫

〒171-0044 東京都豊島区千早 1-20-13

URL: <http://www.zaimokuya.or.jp/>

TEL: 03-3959-7811

FAX: 03-3958-3592

~ 木を育てたい。だから木を使おう。~ 一般社団法人東京都木材団体連合会

会長 吉条 良明

〒136-0082 東京都江東区 新木場 1-18-8

URL: <http://homepage3.nifty.com/tomokuren/>

TEL: (03) 5569-2211 FAX: (03) 5569-2233

「東京の木の紙」のお問い合わせは

4030 株式会社 シオザワ

〒104-0043 東京都中央区湊 3-4-11 4030ビル(第二営業部)

TEL: 03-3551-6201 FAX: 03-5541-7725

URL <http://www.shiozawa.co.jp>



多摩産材と暮らそう!

パネ協

日本住宅パネル工業協同組合

Japan Housing & Components Manufacturers Co-Operative

東日本支所

〒113-0021 東京都文京区本駒込 6-15-7

Tel: 03-3947-7611 Fax: 03-3947-7627

URL: <http://www.panekyo.or.jp>

公益財団法人東京都農林水産振興財団

森づくり支援倶楽部事務局

〒198-0036 東京都青梅市河辺町 6-4-1 青梅合同庁舎 3階

TEL: 0428-20-8153 <http://www.tokyo-aff.or.jp/club/index.html>

E mail: moriclub@tdfaff.com